

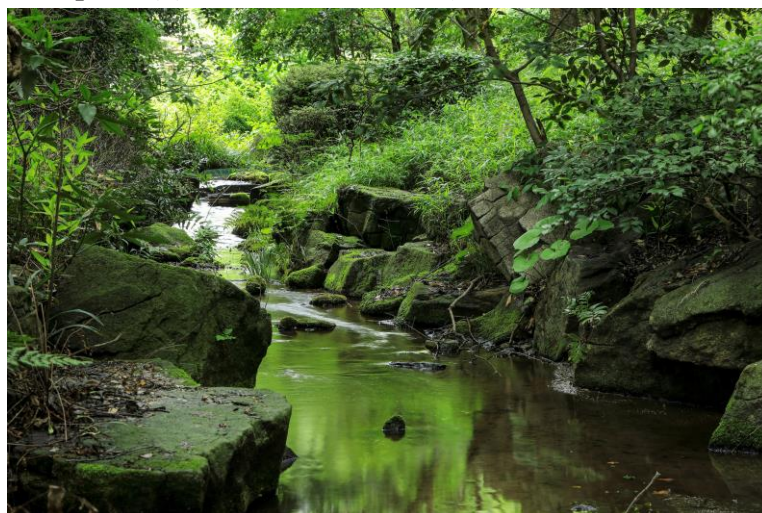
藤田観光 昭和100年イヤー特別企画 ニュースレター

【第4弾】 ホテル椿山荘東京の庭園  
～山縣有朋公爵の庭園観を継承した現代の庭園美～

藤田観光株式会社は、「健全な憩いの場と温かいサービスの提供により、潤いのある豊かな社会の実現に貢献する」という社是のもと、宿泊、リゾート、婚礼、レジャーなどの事業を積極的に展開してまいりました。そして、多くのお客さまや関係者の皆さまに支えられ、2025年11月7日に会社設立70周年を迎えました。

2026年は、昭和元年から数えて100年の節目の年、昭和100年イヤーにあたります。昭和30年に設立し70周年を経て迎えるこの特別な年に、当社の歴史を振り返りながら、昭和という時代が私たちの礎となっていることを改めて感じていただける企画を順次展開してまいりますので、どうぞご期待ください。

第4弾は、「ホテル椿山荘東京」の庭園についてご紹介します。



遠く離れた郷里に思いを馳せる視点場という意味を込めて名付けた「望郷橋（ぼうきょうばし）」からの水景

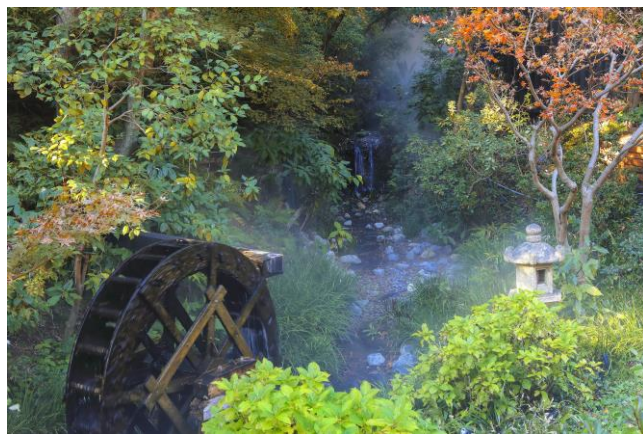
■ホテル椿山荘東京のあゆみ

	南北朝時代	「ホテル椿山荘東京」の周辺は椿が自生する景勝の地で「つばきやま」と呼ばれていたといわれる
TOPIC 1	明治11年 1878年	山縣有朋公爵が「つばきやま」を購入し、「椿山荘」と命名
TOPIC 2	明治30年 1897年	「椿山荘の碑」を建立
	大正7年 1918年	藤田組二代目当主・藤田平太郎男爵が、名園をありのまま残したいという山縣有朋公爵の意志を受け継ぐ
	大正14年 1925年	広島県 篁山竹林寺（たかむらやまちくりんじ）の山頂にあった三重塔を庭園に移築
	昭和20年 1945年	山縣有朋公爵の記念館や1千坪の大邸宅、樹木の大半が焼失する
	昭和23年 1948年	「椿山荘」は藤田鋳業（旧藤田組）から藤田興業の所有となり、藤田興業の創業者となった小川栄一が名園「椿山荘」の復興に着手
	昭和27年 1952年	ガーデンレストランとして「椿山荘」をオープン
	昭和29年 1954年	「ほたる観賞の夕べ」を開始
	平成4年 1992年	「椿山荘」敷地内に「フォーシーズンズホテル椿山荘 東京」をオープン
	平成22年 2010年	庭園のシンボル「三重塔」の平成の大改修を行う
	平成25年 2013年	「ホテル椿山荘東京」としてリブランドオープン
TOPIC 3	令和2年 2020年	庭園演出「東京雲海」誕生
	令和7年 2025年	「三重塔」移築100年
	令和8年 2026年	庭園演出「東京雲海～八雲～」誕生

## ■ <TOPIC 1> 山縣有朋公爵の庭園観



山縣有朋公爵造営当時から存在する池  
「雲錦池（うんきんち）」



幽翠池から流れる水が岩間からたぎり落ちて作る小さな滝  
「聴秋瀑（ちょうしゅうばく）」

「ホテル椿山荘東京」の歴史は、明治11年（1878年）、山縣有朋公爵が「つばきやま」と呼ばれたこの地を気に入り、私財を投じて庭と邸宅を築き、「椿山荘」と名付けたことに始まります。山縣有朋公爵は作庭に情熱を注ぎ込み、園全体の計画や細部の意匠を自ら指導する一方、当時の東京を代表する庭師・岩本勝五郎を登用しました。

当時の日本庭園は、役石（やくいし）を据えてその組み方や配置に象徴的な意味を込める造りが主流でしたが、山縣有朋公爵の作風は周囲の自然や風景を庭園の一部として取り込み、おおらかで明るい構成を特徴とする自然主義的なものでした。特に滝や流れを中心とした水景の扱いにおいては独自の世界を築き、造営当初に設けられた滝や池などの水景は現在も庭園に残され、その趣を今に伝えています。

また、山縣有朋公爵は明治時代の欧州視察を経て、当時の日本庭園には見られなかった芝生を大胆に取り入れるという革新的な試みに挑みました。今日では芝生は一般的になりましたが、当時は非常に斬新な発想でした。

さらに、山縣有朋公爵の造園感覚は、山縣の郷里、山口県萩にあるのではないかと推測されています。萩の地形は椿山荘庭園の構成と驚くほど共通しており、まさに萩の再現と述べても過言ではありません。



目白台地の崖線や緩傾斜を利用した芝生園地と流れ、池を特徴とした庭園

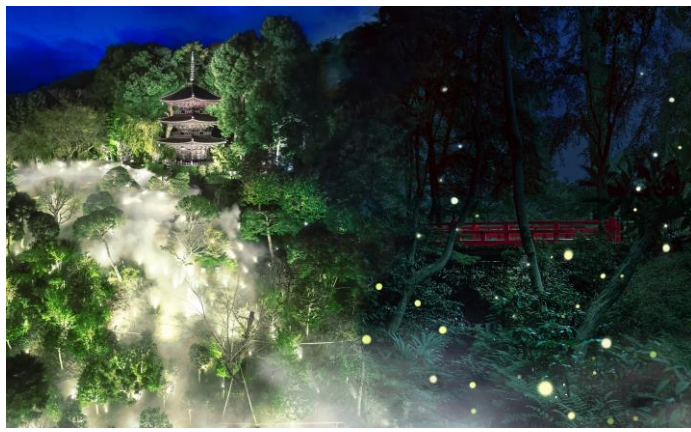
## ■ <TOPIC 2> 椿山荘の碑に刻まれた庭園への想い



庭園内に建つ「椿山荘の碑」は、山縣有朋公爵がこの地を「椿山荘」と命名した際の感慨を刻んだもので、明治30年（1897年）に建立されました。「後にここに住む者はどんな人物かわからないが、その人物も私のようにこの自然を守り続け、この山水を楽しむような私の望み通りの人物であろうか。」と締めくくられています。庭園の歴史的価値を象徴する史跡として、山縣有朋公爵がこの庭園に託した強い想いと情熱を今に伝えています。

「動画で見るホテル椿山荘東京の歴史」は[こちら](#)よりご覧いただけます。

## ■ <TOPIC 3> 「東京雲海」 誕生



「ホテル椿山荘東京」では、日本庭園を単なる景観としてではなく、“体験・文化・研究の基盤”として再定義し、庭園そのものの価値を高めていく「庭園プロジェクト」を推進しています。自然の魅力を実験的な技術で再解釈し、新たな体験として提供する取り組みのひとつとして、2020年に誕生したのが「東京雲海」です。本来は山間部などで気温や風、湿度などの条件が重なったときのみに見える自然現象である雲海を、都心の庭園で再現することで日本庭園の新たな楽しみ方を生み出しました。

山縣有朋公爵の庭園観や歴史・造園手法の研究、文化発信、人材育成・技術継承を仕組み化した「庭園文化再生・発信モデル」を構築し、日本庭園文化の継承への挑戦が評価されたことで、「2025年グッドデザイン賞」を受賞しました。

造園において革新的な手法を好んだ山縣有朋公爵が現代に存在していたなら、このような自然と技術を融合させた新たな庭園表現にも、きっと積極的に挑戦していたのではないのでしょうか。

## ■ 進化した雲海体験「東京雲海～八雲～」 誕生



「ホテル椿山荘東京」では、日本最大級のミストによる庭園演出「東京雲海」を進化させた「東京雲海～八雲～」を2026年7月1日より開始いたします。

八雲とは、幾重にも重なり合う雲を意味します。本演出では、これまでの単一的な雲海から、重なり合う立体的な雲の表現へと進化させました。

さらに館内では、八雲をテーマにしたコース料理やスイーツなども展開し、視覚だけでなく味覚でも「東京雲海～八雲～」の世界観をご体験いただけます。

期間：2026年7月1日（水）～通年

URL：[https://hotel-chinzanso-tokyo.jp/unkai\\_lightup/](https://hotel-chinzanso-tokyo.jp/unkai_lightup/)

## 藤田観光株式会社について

藤田観光株式会社は、日本における観光業界の先駆けとして 1948 年に「箱根小涌園」、1952 年に「椿山荘（現ホテル椿山荘東京）」を開業、その後、1955 年に会社を設立しました。人材や文化財などのあらゆる企業資産を最大限に活用し、より多くのお客さまに憩いの場と温かいサービスを提供するとともに、ユニークなコンテンツ展開・事業展開を通して、お客さまのライフサイクルやスタイル（人生）の様々なシーンに寄り添う新たな価値を提供することで、「潤いのある豊かな社会の実現」を目指しています。

公式HP：<https://www.fujita-kanko.co.jp>

ブランドムービー公開中！：<https://www.fujita-kanko.co.jp/sub/fkmovie>



## 藤田観光グループのサステナビリティへの貢献について

藤田観光は創業以来、「私たちは、健全な憩いの場と温かいサービスを提供することによって、潤いのある豊かな社会の実現に貢献したいと願っております。」という社是のもと、「環境に関する取り組み」、「多様な価値観に対する取り組み」などを企業としての持続的成長に不可欠で重要なものと捉え、進めてまいりました。これらの取り組みは、持続可能な社会の実現を目指すサステナビリティに相通じるものです。今後も当社は事業を通じて社会課題の解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

サステナビリティに関する取り組み：<https://www.fujita-kanko.co.jp/sustainability/>

## 藤田観光株式会社が運営する代表的な施設ブランド

全拠点の詳細はこちら（<https://www.fujita-kanko.co.jp/sub/facility/>）をご覧ください。

■WHG事業：ワシントンホテルやホテルグレイスリーを中心に全34拠点

・ワシントンホテル 19拠点（<https://washington-hotels.jp/>）

・ホテルグレイスリー 10拠点（<https://gracery.com/>）

・ホテルタビノス 3拠点（<https://hoteltavinos.com/>） など

■ラグジュアリー&バンケット事業：ラグジュアリーホテルや婚礼施設、ゴルフ場など全6拠点

・ホテル椿山荘東京（<https://hotel-chinzanso-tokyo.jp>） など

■リゾート事業：温泉リゾートやグランピング施設など全19拠点

・箱根ホテル小涌園（<https://www.hakone-hotelkowakien.jp/>）

・箱根小涌園天悠（<https://www.ten-yu.com/>）

・箱根小涌園ユネッサン（<https://www.yunessun.com/>） など（2026年5月現在）

TM & © TOHO CO., LTD.



< 取材に関するお問い合わせ先 >

〒112-8664 東京都文京区関口2-10-8 藤田観光株式会社 企画本部 経営企画部 上田

TEL：03-5981-7722 / FAX：03-5981-7735